

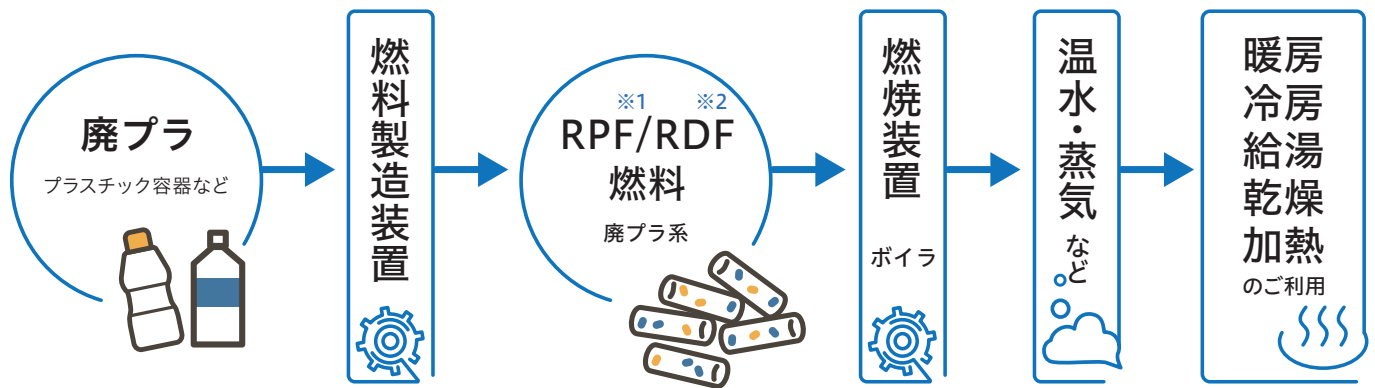
廃プラボイラ導入のご案内

廃棄物の処理費用を削減し、環境にも優しい温水・蒸気をお届けします。

廃プラボイラとは？

廃プラボイラとは、廃棄されたプラスチックを燃焼させることでつくられるRPF/RDF燃料を原料としたリサイクル燃料ボイラです。

廃棄物を有効活用することで、化石燃料に頼ることなくエネルギーを製造し循環型社会へ寄与することができます。



※1 RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) : 産業廃棄物として分別収集された古紙及びプラスチックを主原料とする固形燃料。

※2 RDF (Refuse Derived Fuel) : 可燃性の一般廃棄物を主原料とする固形燃料。

(引用元) 廃棄物固形燃料化 (RDF、RPF) - 環境技術解説 | 環境展望台 : 国立環境研究所 環境情報メディア (nies.go.jp)

導入メリット

リサイクル燃料の導入は、廃棄物の処理費用を抑えるだけでなく、化石燃料の消費量削減による温室効果ガス削減や資源回収のしくみから成り立つ地産地消などの社会貢献へつながります。

01

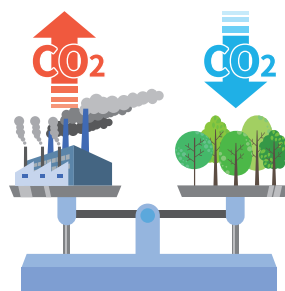
廃棄費用の削減！



廃棄物の再利用により、工場などで支払われる廃棄費用を削減できます。

02

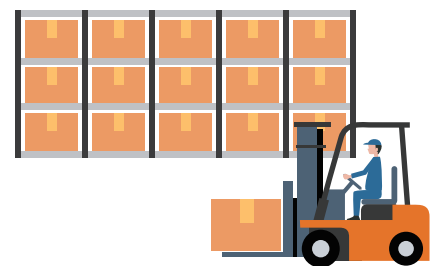
リサイクルでCO₂削減にも大きく貢献



リサイクルした原料を使用することで、地球温暖化対策などの社会貢献につながります。

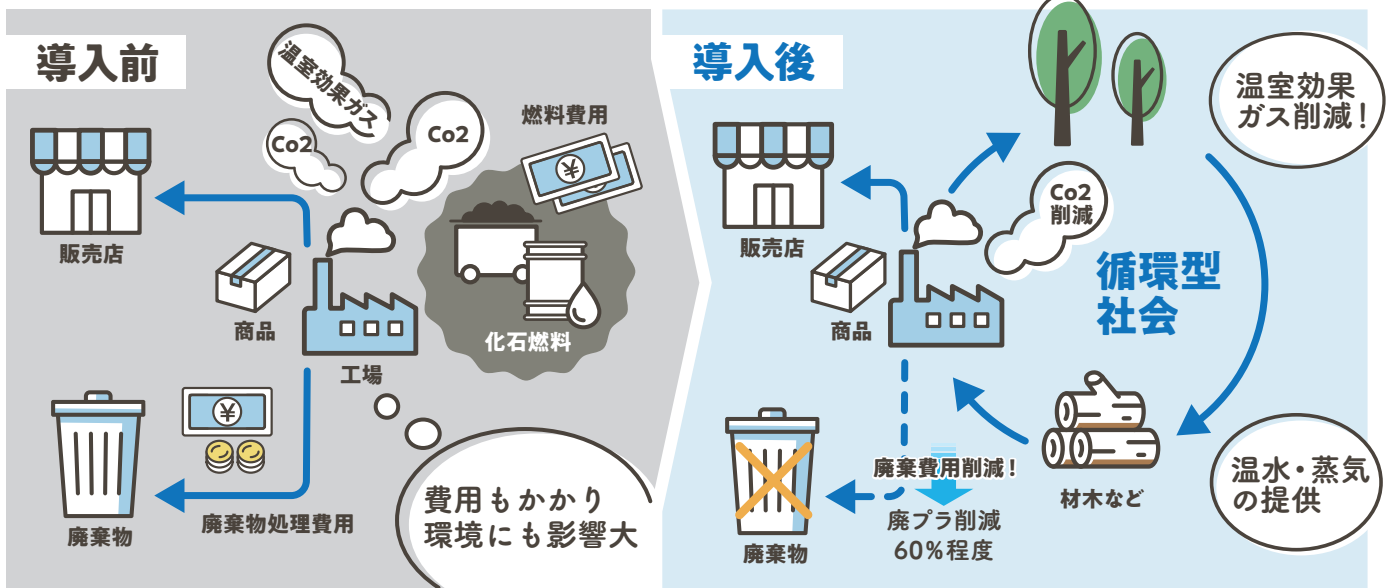
03

固形燃料として保管可能

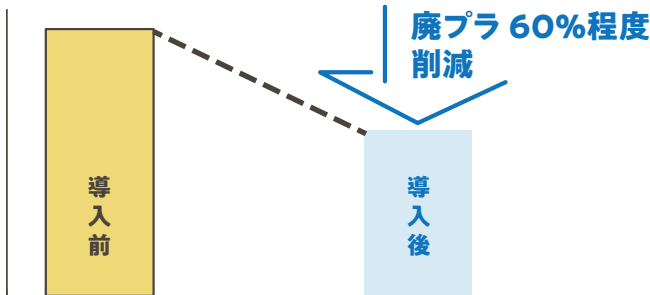


液体燃料や気体燃料と違い、非常用の備蓄燃料として保管することができます。

廃プラボイラは、SDGsの時代の中で持続可能な循環型社会への価値を提供いたします。



廃プラボイラ導入による廃棄物の削減効果



廃プラボイラは、2つの大きな効果を持っています。1つは高リサイクル性です。環境にやさしいリサイクル燃料で、循環型社会を実現します。また化石燃料を代替するので実質的な地球温暖化ガスの削減が可能になります。実際に廃プラボイラを導入頂いた工場では、廃プラを60%程度削減を実現しました。

※削減率は一例になりますので、ご利用状況や条件により変動する場合がございます。

廃プラボイラ導入の流れ

お問い合わせ後、下記のフローで導入までのサポートさせていただきます。



※燃料製造装置で固形化せずに使用できる場合もございます。

お問い合わせ

巴ボイラ 株式会社 巴商会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6番地 ランディック神田ビル1階
TEL.03-3254-2611(代) FAX.03-3256-7668
<https://tomoeshokai.com/>



M.I.S 株式会社 エム・アイ・エス

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10
TEL.092-834-5131 FAX.092-834-5132
<https://www.mis-r.co.jp/>



拠点情報

